



総合学術調査報告書発刊に寄せて

吉野川市長 川 真 田 哲 哉

阿波学会紀要第58号「吉野川市『山川町』総合学術調査報告書」発刊にあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

この度、阿波学会並びに関係者の皆様のご協力により、吉野川市山川町の学術調査報告がまとまり発刊される運びとなりましたことに、心からお慶びとお礼を申し上げます。

そして今回の報告書発刊により、既に発刊されております鴨島町・川島町・美郷村の報告書を併せますと、この度吉野川市全域が網羅されるに至り、誠に喜ばしい限りです。

平成23年7月29日、吉野川市アメニティセンターにおいて関係者多数ご参加のもと結団式が挙行され、15班という多くの調査団により猛暑の中、体力・気力・探求心を持続させながら、また春夏秋冬の変化に合わせて調査を継続する班もあり、広範囲な分野にわたる専門的な学術調査を実施していただき、非常にご苦勞されたこととご拝察いたします。

また、12月10日には同センターにおきまして学術調査発表会が開催され、各専門分野からの学術的にも実態把握の面からも非常に内容の濃い発表をしていただき、文化や自然についての認識を深めることができました。

本市山川町には、全国に例を見ない類い希な国指定天然記念物の「船窪のオンツツジ群落」や県指定文化財の「手漉和紙製造の技法」・「川田手漉和紙製造用具」・「山川町神代御宝踊」、また市指定文化財であります「棟付帳・検地帳」・「山崎の獅子舞」・「川田山王子神社百手祭」・「忌部山古墳群」・「井田の大クス」・「西川田の大クス」等の自然遺産や歴史的文化遺産、民族芸能や風習も数多く残されております。

吉野川市も平成16年10月1日、「世代を越えて、夢紡ぐまち ～新・生活創造都市をめざして～」を理念に、旧麻植郡4町村が合併し『吉野川市』が誕生してから7年余が経過致しました。

スケールの大きな自然の中、四季を通じて美しい姿を見せる清流「四国三郎」吉野川の中流域を生活拠点として一步一步着実に歩みを重ねながら、さらなる飛躍をめざし新しいまちづくりを進めているところでございます。今回の調査結果を今後のまちづくりに活用すると共に、これらの自然や文化遺産を後世に大切に引き継いでまいりたいと考えております。

結びにあたり、総合学術調査団の皆様方のご苦勞に対し深く感謝申し上げますと共に、この調査にご協力いただきました市民の皆様方に心からお礼申し上げます。阿波学会の今後益々のご発展と、会員各位の一層のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ、発刊のお祝いとお礼の言葉とさせていただきます。